

(独)水産総合研究センター

漁業調査船「蒼鷹丸」一般公開

第5回世界水産学会議の開催に合わせ、共催機関である独立行政法人水産総合研究センター所属の漁業調査船「蒼鷹丸」をみなとみらい新港ふ頭にて一般公開展示します。

ふだんなかなか目にすることのない漁業調査船の内部を見るよい機会です。ぜひ足をお運び下さい。



蒼鷹丸は、平成6年に竣工した漁業調査船で現在は4代目にあたり、初代は大正14年に建造されています。全長67.5m、892トン、乗組員35名で、中層トロールシステム、船内LANシステム等を備え、主に日本周辺海域を対象として、動植物プランクトンなど海洋生物の生産性や海洋環境、水産生物資源に関する調査などを行っています。

公開日：**平成20年10月22日（水）、23日（木）**

時間：10時から16時（見学受付は15時まで）

場所：**新港ふ頭5号岸壁**（横浜市中区新港一丁目2番）
（赤レンガ倉庫隣、海上防災基地前）

備考：特殊な構造を有する調査船のため、船内には急な階段等もあります。歩きやすい靴でお越し下さい。学校等団体で見学をご希望の方はご相談下さい。

入場無料

問い合わせ
独立行政法人水産総合研究センター
中央水産研究所 業務推進部
045-788-7615

